

通信 S O R A

住宅工房 S O R A とお客様を結ぶコミュニケーション情報誌

2008 5 月号

社長のひとりごと

「自己実現に生きる」

地域に生きる弱小企業にとって、良い人材が採れるかどうかは大きな意味を持ちます。ほとんどの優秀な人材は、やりがいがあり、条件の良い大企業へ流れてしまいます。優秀な人材とは基礎知識レベルが高く、どのような時でも自分の成すべき仕事を理解し、全力で努力して結果に結びつけようとする、精神力のある、上を目指す意識の高い人。仕事をする上で大切なのは、「何のためにこの仕事をするのか」という目的意識（理念）を明確に持つことで、知識レベルが高いことは、それほど重要な要素ではありません。目的意識の高さが、人を成長させ、どんな困難でも克服させると思うのです。最近の弊社の面接では、必ず、「何のために働くのか2～3理由を述べて下さい。」という質問をしています。「食べていくため」、「生活のため」、「お金のため」というだけの場合は、どんなに優秀な方でもお断りしています。そのような理由の場合は、弊社でなくても働けるからです。仕事を通して自己実現を図るためには、その企業の理念やビジョンに共感し、共有することが大切です。能力や才能があっても、目標や希望を持たずにただ何となく生きていくか、夢に向かって前向きに努力して、生き活きと生きていくか。その意識の違いによって、日々の行動がコントロールされ、時間と共に大きな差となって現れてきます。私自身、以前は漠然とした夢や目標しか無く、目の前に小さな目標を掲げてそれに向け努力することを繰り返してきました。しかし、住まいづくりを始めてから、日増しにやりがいを感じるようになり、今ではこれが自分のライフワークだと確信しています。昔から、住まいづくりも自己実現の一環で成されています。物の無い時代には、物質的な豊かさを求め、物があふれる現代では、精神的な豊かさを求める。バランスが良く、手仕事による温もりのある住まいづくりを通して、家族の生き生きとした暮らしの実現をお手伝いすることは、とてもやりがいがあり、自己実現できる仕事だと思いつつ同時に、充実した生きがいを感じています。

代表取締役 田中 昭弘

桜祭り & 住まいづくりフェア

4月12日、13日と夜ノ森桜祭りが開催されました。12日の土曜日は晴天に恵まれ、ちょうど満開になった桜の下で、ヨサコイなどいろいろなイベントが行われました。



住宅工房 空の「住まいづくりフェア」は3月28日から開催していて、お客様のご来場をお待ちしておりました。特に、12日、13日は、たくさんの方がお出でになり、新たな出会いも多く、いろいろとお話しさせていただきました。



自分でつくる、ピザ窯 & バーベキューコンロ講座 (全3回)のお知らせ!

夜ノ森ソーラータウンでは、住まい手が気軽にガーデンライフを楽しむように、共同で利用できるものを造ろうということになりました。今回は、ピザ窯(薪窯)&バーベキューコンロを2週にわたって造ります。最終回には実際にピザやパンを焼いて、試食をしてみましょう。興味のある方は、奮ってご参加ください。



写真はイメージです。実際に造るものとは多少異なります。

- 1回目：5月25日(日)13:30～16:00 土台づくり(500円/人)
- 2回目：6月1日(日)13:30～16:00 窯づくり(500円/人)
- 3回目：6月8日(日)11:00～14:00 火入れ、試食(1,000円/人)

場所はギャラリーSORA(富岡町夜ノ森南三丁目17)です。各回、限定10名様とさせていただきます。お申込みお問い合わせは、住宅工房 空soraまでお願いします。

昨年暮れから準備してきた盛り沢山のメインのイベントを、多くの方のご協力により、なんとか終わることができました。本当にありがとうございました。

〈 抽選結果発表 〉

応募者全体の中から、総当選者数11名様を抽選しました。その結果、予定数以上の希望商品ではさらにそこから抽選を繰り返し、残りの商品の当選者を決定しました。

W賞(1名様)次世代ゲーム機Wii

富岡町 川端様

O賞(2名様)OMUSUBI stool / mid

いわき市 殿畑様、いわき市 坂本様

R賞(3名様)R+R stool

楢葉町 高木様、楢葉町 古市様、浪江町 渡邊様

C賞(5名様)N CDラック

四街道市 小峰様、いわき市 前田様、大熊町 青山様

双葉町 荒様、双葉町 小野田様

当選商品及び参加賞は、6月末ごろまでにお届けいたします。また、参加賞は当初温度計付マグネットの予定でしたが、都合によりOMオリジナルトートバックに変更になりました。

この通信は、これまでご縁のあった方々にお届けしています。
 中止のお申し出がない限りこちらの一存でお送りしますが、一年以上音信のない方には、その後ご連絡があるまで休止させていただきます。

外断熱ブームから断熱工法を検証する

(断熱に関する正しい知識とそのポイント)

断熱の目的は単純ではなく、住む人の健康のことや地球温暖化防止などエコロジーのこと、建物を長持ちさせることなど多くの要素が関わっています。そこで断熱の目的と効果についてまとめてみます。

健康な生活が維持できる

住宅環境は人の健康と密接に関係しています。室内の温熱環境が快適に感じられるようにするには、気温、湿度、輻射、気流の四つの要素をバランスよく満足させなければなりません。室内の寒さや大きな温度差は、不快ばかりでなく、脳卒中や心臓病、神経痛、リウマチなどの要因となっています。脳卒中による死亡率は、食事や医療などの要因とともに寒さが大きく関与しています。

ヒートショックを起こさない

冬場に、家の中で暖かいのが居間だけで、しかもそこだけ室温が30度前後ある家は少なくありません。そこからトイレや洗面所などの零下に近い寒い所に行くと、体を壊している人や高齢者などでは、この温度差で体に大きな負担がかかります(ヒートショック)。病気の引き金となる可能性が高くなります。こうした危険を防ぐためには、家の断熱をしっかりと行って、大きな温度差が生じないようにすることが重要です。

そのほか 上下の温度差を少なくする 1日の温度差を少なくする 暖かく動き回れる 隙間風をなくし、冷輻射を少なくする 省エネルギー化でエコ住宅など、高断熱にすることで様々な効果が期待できます。

次に断熱材の選択についてみてみます。最近では自然系断熱材も安価になってきて、いろいろな素材のものが使われ始めています。断熱材はそれぞれに一長一短があります。住まい手の希望や予算、体質などに合わせ、性能、価格、化学物質過敏症・環境ホルモン、アレルギーなど、どこを重視するかが選択のポイントになります。わが国の断熱材の使用状況をみると、グラスウールの使用が最も多く、全体の60~80%を占めています。北欧や北米、ドイツやスイスであっても主流はまだまだグラスウールのようです。以前のグラスウールは壁体内の結露やカビ、垂れ下りなど、悪いイメージが持たれていましたが、新在来工法など、高性能グラスウールを使用した高断熱工法が定着することで、グラスウール断熱の信頼度も上がっています。

(参考図書：外断熱が危ない!、(株)エクスナレッジ)

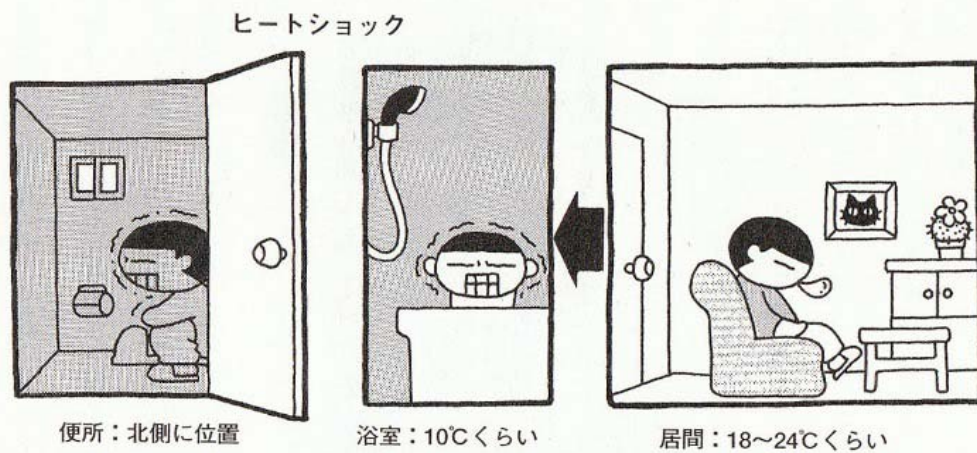
OMソーラー活用のポイント(3)

5月を迎え、外気温も20度以上になる日が増えてきました。OMの家に住まい始めて数年経過する方は、毎日の天気動向をチェックし、お湯採りを始めていることと思います。住まい始めて間もない方は、集熱により室内の温度が高くなり過ぎるため、室温設定を低く変更してしまうことが多いようです。

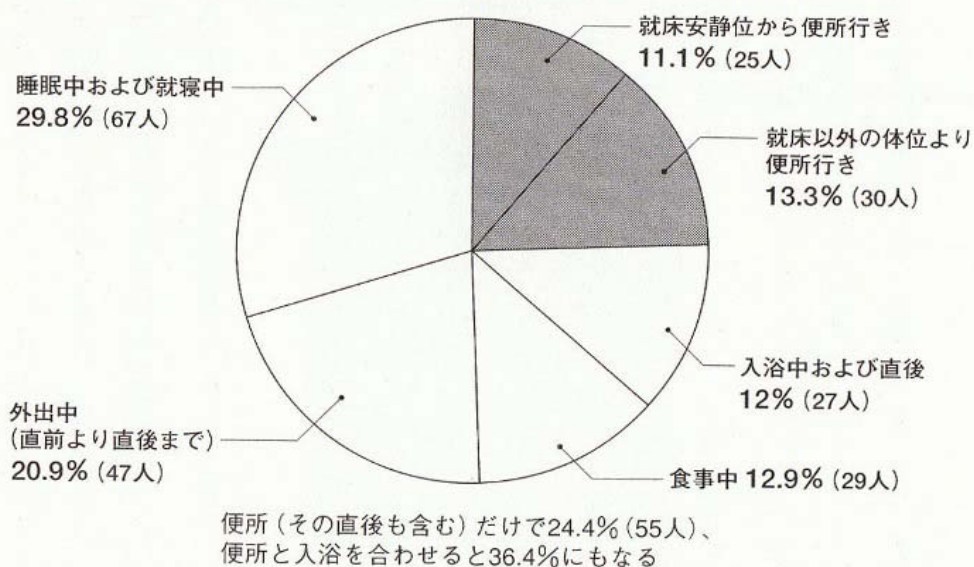
OMソーラーはパッシブシステムですので、できるだけ自然の恵みを利用しましょう。真夏以外はできる限り集熱取込みをして下さい。

私の家では梅雨明けまで集熱して窓の開閉で室温を調整しています。そうすることで床下換気になり室温が高くてもカラッとします。真夏の夜も外気取り入れをして、換気機能をフルに活用することをお勧めします。OMソーラーをエアコンと同じような考えで使うと、うまく使いこなせなくなってしまいます。

自然の力を利用する、立ち上がりがゆっくり、換気機能が優れているなど、OMソーラーの特性を理解して、自分なりの使い方を工夫してみてください。



脳卒中の生じた時間と場所(某病院来診225人)



出典：『人と住宅の健康読本』(徳山曹達[現・シャノン]発行)

住まいづくりフェア抽選商品のご紹介

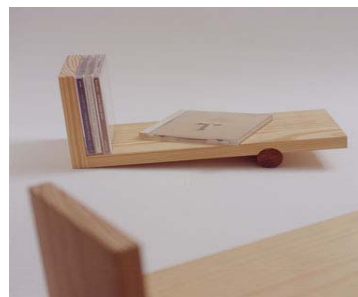
「R + R stool」

小泉 誠さんデザインのスツール。R+R chairの背がとれた、軽快なスツールです。R+R chairと合わせて、サブチェアとして活躍します。
 ¥29,988 (28,560)



「N」

小泉誠さんデザインの、L字の板に丸棒を組み合わせたCDラックです。写真の向きと左右を変えれば「N」に見えますね。
 板：ホワイトアッシュ材0F
 丸棒：ウォールナット材0F
 W360 × D145 × H145
 ¥3,780 (3,600)



「トートバッグ」

OMオリジナルのトートバッグ。3冊のブックレットの表紙のイラストをデザイン化したトートバッグは、買い物に、お出かけに、男女を問わず多目的に使用でき、幅広い年齢層に人気があります。
 ¥683 (650)



今年から紙面をA4両面に変更させて頂きました。従来は、これから住宅建築を考えている方向けの内容になっていましたが、今後は、既にお住まいの方への情報を追加して、より多くの方に読んでいただけるよう内容を充実して参りたいと思います。季節感、時事感のある記事を織り交ぜて、編集人やスタッフの気になる情報を発信していきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。